

UNITEX LTFS3000 for MacOSX Ver.2.10.0 リリースノート

【概要】

(主な変更点)

- ・macOS 13に対応しました。
- ・macOS 10.12、10.13におけるサポートを終了しました。
- ・保守サポート用のドライブログ取得機能を追加しました。

(不具合修正)

- ・ありません。

(関連情報)

- ・製品 URL
<https://www.unitex.co.jp/products/software/ltfs/ltfs3000/>

【対応 OS】

- macOS 10.14 / 10.15 / 11 / 12 / 13

【対応装置】

- UNITEX LT90H / LT80H2 / LT70H2 (USB/USB-RM)
- UNITEX LT80H / LT70H / LT60H / LT50H (USB/USB-RM)
- UNITEX LT90 / LT80 / LT70 / LT60 / LT50 (USB/SAS/USB-RM/SAS-RM)
- UNITEX Dual LTO Series

【旧バージョン変更履歴】

【Ver.2.9.1】 2023/02/06

(主な変更点)

- ・2023年2月以降のロットのLTOドライブ装置に対応しました。

(不具合修正)

- ・ありません。

【Ver.2.9.0】 2022/07/25

(主な変更点)

- ・LTO-9ドライブ装置に対応しました。
- ・UNITEX LT80H2 / LT70H2モデルに対応しました。
- ・Appleシリコン搭載MacコンピュータのUNITEX FASTapeLT 必須の使用制限が無くなりました。

(不具合修正)

- ・一部環境においてアプリケーション起動時に画面が固まってしまうことがある問題を修正しました。

【Ver.2.8.0】 2022/03/21

(主な変更点)

- ・macOS 12に対応しました。
- ・Appleシリコン搭載Macコンピュータに対応しました。
- ※ Appleシリコン搭載Macコンピュータは、UNITEX FASTapeLTの利用が必須となります。

(不具合修正)

- ・ありません。

【Ver.2.7.0】 2021/10/25

(主な変更点)

- ・macOS 11に対応しました。(Apple M1チップ搭載PCは非対応となります。)
- ・OS X 10.11におけるサポートを終了しました。
- ・ファイル名・フォルダ名の長さの制約がUTF-8換算255バイト(日本語85文字相当)から255文字に拡張対応しました。

(不具合修正)

- ・複数台のLTOドライブ接続時、同時にフォーマットが実行出来ない問題を修正しました。
- ・その他、軽微な問題を修正しました。

【Ver.2.6.0】 2020/04/27

(主な変更点)

- ・macOS 10.15に対応しました。

(不具合修正)

- ・環境により稀にファイルの更新日付、パーミッションが正しく引き継がれないことがある問題を修正しました。
- ・その他、軽微な問題を修正しました。

【Ver.2.5.0】 2019/02/01

(主な変更点)

- ・macOS 10.13、10.14 に対応しました。
- ・OS X 10.7、10.8、10.9、10.10 におけるサポートを終了しました。

(不具合修正)

- ・ありません。

【Ver.2.4.0】 2018/05/18

(主な変更点)

- ・LTO-8 ドライブ装置に対応しました。
- ・UNITEX LTxxH USB(USB 高速 LTO ドライブ装置)に対応しました。

(不具合修正)

- ・ありません。

【Ver.2.3.0】 2017/11/10

(主な変更点)

- ・OS X 10.11、macOS 10.12 に対応しました。

(不具合修正)

- ・ありません。

【Ver.2.2.0】 2016/08/26

(主な変更点)

- ・LTO-7 ドライブ装置に対応しました。
- ・ラックマウント型 LTO ドライブ装置に対応しました。

(不具合修正)

- ・ありません。

【Ver.2.1.0】 2015/11/09

(主な変更点)

- ・OS X 10.10 に対応しました。
- ・LTO ドライブの複数台接続に対応しました。

(不具合修正)

- ・ありません。

【Ver.2.0.0】 2014/09/12

(主な変更点)

- ・初版